

強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会③研修会報告書

1. 日 時 令和5年9月24日（日） 9時～16時
2. 場 所 旭川市忠和公園多目的広場
3. 参 加 者 講 師：村山 尚哉（HKFA 審判委員会指導者部、1級審判インストラクター）
受講者：【集合参加】柴田靖土、砂川邦裕
4. 研 修 内 容 **主な研修内容は以下のとおり。**
講義①・試合分析実践
■北海道サッカーリーグ第14節 旭蹴会 vs 札幌蹴球団
主審：細谷 励 副審：須摩 和樹、小川 仁 第4の審判員：古川 博章
講義②・振り返り実践
講義③・振り返りの共有、指導のポイントおよび観点について、指導方法について

スキルアップ②から学んだ分析実践から、審判員が次のステップに向かえることができ、そしてモチベーションを高め自信をもたせることができるようにフィードバックを実践しました。このようなフィードバックを実現するために、ポジティブな環境での指導に心がけ、審判員の自己自信を向上させ成功に対する信念を強化できること、また、自己自信が高まることで、さまざまな課題に立ち向かうことができる審判員を育成していくことにつながることを共有しました。

今回の実践では、審判員のよいところの抽出の大切さ、難しさを改めて実感しました。1つ1つを振り返ることで指導することも大事ですが、試合全体を通してのパフォーマンスがどうであったのか、ポイントを絞っての指導を行う重要性も考えながらの実践となりました。

指導者は時に困難な状況に直面する審判員に共感し、サポートを求められることもあります。指導者に求められているものや変わらなくてはならないことを共有できたと思います。試合分析で抽出された課題点に対して、審判員が学んだことや指導者の立場で見つけた新たな発見を今後役に立てていければと思います。

